

家畜衛生情報

平成19年12月

県内で豚日本脳炎が発生！

～ 飛騨家保管内でもウイルスの動きが確認されています ～

発生年月日 平成19年12月6日

発生場所 揖斐郡揖斐川町

発生頭数 1頭（患畜）



- ・母豚が15頭を分娩、9頭は正常分娩、3頭死産、3頭に体の震えを認める
- ・体の震えを認めた子豚の脳から日本脳炎ウイルスの特異遺伝子を検出し、豚日本脳炎と診断
- ・当該農場は、日本脳炎のワクチン未接種

（裏面に近年の全国の発生状況を示しました）

● 豚日本脳炎ってどんな病気？

- ・原因 日本脳炎ウイルスの感染によって起こる家畜の法定伝染病で人獣共通感染症でもあります
豚では雄豚の精液性状異常と異常産を発生させます
 - ・感染経路 ウイルスは主にコガタアカイエカによって豚から豚へ伝播されます
 - ・主な症状 雄豚では精巣炎を発症し、精巣が腫脹します
異常産は、主に分娩前後に発生することが多い
 - ・発生時期 コガタアカイエカが活動を開始（28℃以上）してから数ヶ月後に多発
9月から10月に異常産の発生が最も多いですが、近年では冬場の発生も認められます
 - ・対策 ワクチン接種による予防
接種時期：流行開始推定日の1ヶ月前
一般的に西日本では4月～5月の接種
- ① 豚は一度夏を越すと、多くの豚が感染し抗体が陽転し、終生免疫となるので、そのような豚にはワクチン接種の必要性は低いといわれています。
 - ② 近年は温暖化の影響か、流行が伸びる傾向があるため追加ワクチンの接種も検討する必要があります。



豚に異常が認められたり、不明な点などがありましたら家畜保健衛生所に連絡してください。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

国内での日本脳炎の発生状況

